

はまぎく

社会福祉法人 いわき福音協会

はまぎく荘

第95号

発行責任者

〒970-8003

いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地

TEL (0246) 23-5311

FAX (0246) 23-5312

はまぎく荘新聞編集委員会

お花見



朝晩の気温がまだ低く、油断すると風邪を引いてしまいそうな四月初旬。偶然にもこの日は天候に恵まれ、春の陽気。上着を一枚脱いで、バスに乗り込みました。

予定では開花しているはずの桜を求め、勿来方面へ出発。花より団子と言われますが、何しろ今回のテーマは「桜が主役」。花を見なくては始まりません。ところが道中、車窓から見える木々を見ると、まだつぼみ：早かったかと諦めかけていました。しかし寄り道した白水阿弥陀堂では、嬉しいことに咲き始めの桜に出会うことが出来、花見の目的のうち半分を達成できました。



た。当然、残り半分は御馳走です。勿来の関荘に到着し、目の前のお膳に釘づけ。早々に乾杯をし、刺身や天ぷらなどを頂きました。程々のビールを嗜む方も居て、皆さん満足そうな表情が伺われました。

ゆつくりと勿来の関を散策する予定が時間の都合上できなかったり、開花にはまだ早かったりと残念な点はありましたが、何しろ利用者さんと職員が皆一緒に行動し、楽しむことができたことが何よりだと思います。

新法移行 ～二年目にあたり～

所長 庄 司 博文

昨年の四月に障害者自立支援法に同一法人の四施設と移行し二年目を迎えます。これまでの作業中心から大きく変化した一年でした。

いといます。経験や勘・度胸の時代は昔であり、理論に裏打ちされてこそその現場であり短期・中長期的な計画を立てて行きます。

試行錯誤の中利用者さんや職員に大変苦労をかけたと思います。常に言ってきたことは『利用者さんにとって良かれと思う事。こうでなくてはならぬは言わない。変革の時は何にでもチャレンジしよう。』でした。今年度は日中活動の午後の部で週二日程度は午後

また最近施設入所希望者の激減の傾向がある一方で在宅からの家庭的諸問題の相談が増加しております。内容としても緊急且つ重大な事が多くなってきました。施設が今後求められる地域の核としての機能づくりに向けニーズに対応できる体制づくりに努めて行きたいと思います。

も軽作業的な物を試行していく計画です。はまぎく荘の特徴に年配者の方ほど元気なのであります。その方々は昔取った杵柄と申しましょうか、働く事が生き甲斐の年代であります。年齢でなく元気に一生現役が健康の秘訣だと思います。

これまでも地域移行の取り組みも継続し本人さんの願いに向け進めて行きたいと思っています。

さて一方で自閉的分野の方々への対応が一段と大変な時代になり、どこの施設も同様の問題があると思います。

昨年年度は三十周年を迎え記念行事も皆さんの協力を得て行う事ができました。改めて感謝申し上げます。三月にタイムカプセルを再度埋めました。更なる十年・二十年後に向かつて望みを込めて行われました。将来どうなっているか楽しみであり、何十年後かの掘り起こしに皆さんと立ち

研究会は勿論の事それを確実に実践できるよう更なるスキルアップに取り組んで行きた

会えたら幸せです。

平成22年度処遇方針

支援課長 志賀道子

現在のはまぎく荘は新法移行に伴い『指定障害者支援施設はまぎく荘』として、施設入所支援事業と生活介護事業を行なっています。定員四十名の利用者ひとりひとりのニーズに応え、豊かな生活が送れるよう環境と人権を重視した支援に努め、職員二十八名が良き支援者として専門的役割を自覚して使命を果たすことを基本理念としています。

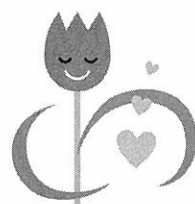
具体的にはそれぞれの特性に応じた創作活動のメニューを用意してできるだけ個別に支援すること。日中生活介護のリハビリ機能を十分に發揮し自立に向けた支援をすると同時に、重度者、高齢者については手厚い介護と支援を行ないQOLの向上に努めること。敷地内の『なすなホーム』を活用し地域生活移行が実現できるよう支援すること。日中活動で物作りや物を育てることの喜びを実感させると共に体力の維持向上に努めること。環境整備に努め、利用者の安全な生活環境と快適に過ごせ

る場を提供すること。利用者の高齢化（平均年齢四十九歳・最高年齢七十八歳）が進み介護の必要な人に職員全体で利用者のサインを見逃すことなく早期発見・早期予防に努め

ること。調理業務委託により栄養士と共に利用者への食事サービスの質の維持と、より良い食事サービスを提供できるよう事業をすすめること。個別支援計画の確認や相談・助言を家族・本人・施設が連携することで、より一層利用者のニーズに応じた支援に努めること。自主点検・保守点

検（業者委託）の徹底に心掛け、毎月の避難訓練で防災教育に努めること。（今年度は利用者の安全を図るためスプリンクラーを整備する予定）医療による感染予防等のマニュアルの周知徹底に努めること。地域との関係を推進し、係わりを大切にすること。わ

して社会参加を促進すること。ボランティアの協力を得て余暇活動の充実に努めると共に施設のオープン化を利用者、職員一丸となって努力していくこと。



女子棟 親睦会



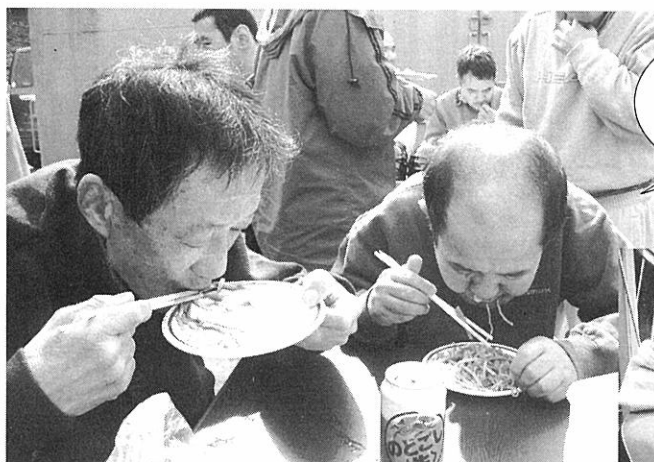
懐かしいなあ～
懐メロを
みんなで大合唱♪

見て!!
このお皿の数!!
ピース。ピース。



女子棟の親睦会は街へ出かけて外食とカラオケ。昼食は回転寿司またはうどんのどちらかを選択。上手に半数ずつに別れました。寿司店では次々に回ってくる寿司を眺めながら口に頬張るため、まだ食べられるのか満腹になっているのか分からない状態！よく食べたものと感心しながら重ねられた皿は十二枚。まだまだイケそうだけれど恥ずかしいから今日はこの辺で諦めました。

食後はカラオケ店へ。昔懐かしい曲がかかるモニターの前に年配者が五名ズラリと並んで合唱。最近の歌はテンポが速くて歌いにくいけど昭和の歌は気持ち良く歌う事ができました。でも古すぎたナアー。十種類以上の飲物が飲み放題。飲み放題と食べ放題は得意です。最近の流行で私達は慣れっこよ。いやー飲みました飲みました。店員のお姉さん、一生懸命ジュースを補充しておりました。食べて飲んで歌ってと今年度最後の行事に女子棟皆さんの親睦は更に深まったものでした。重すぎて帰りの公用車は少し右に傾いていたようです。

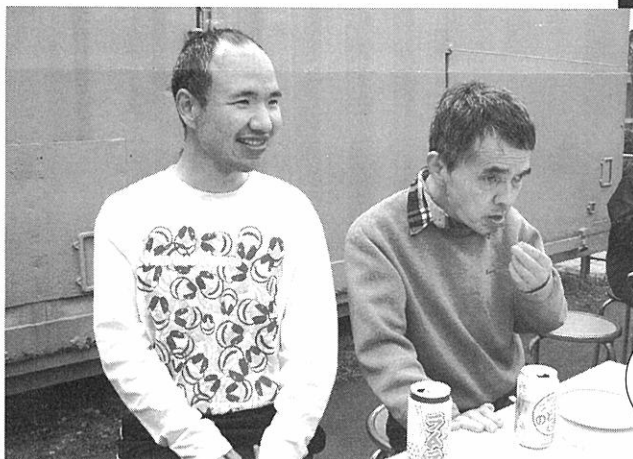


焼きそば
食べ放題だぞ!!
おかわりしよう

男子棟 親睦会



早くちょうだい!
大盛りで
お願いわ!!



はい。はい。
おとなしく
待ってますよお

平成二十二年三月十八日(木)男女子棟別の親睦会を行いました。午前中は創立三十周年という事でタイムカプセルを埋めました。それぞれの大切な物とメッセージを添えて『今後は何年後に掘るのかな?』等と話しながら実施しました。十～二十年後かは分かりませんが掘り出すことが今から大変楽しみです。その後男子棟親睦会があり、全員参加できるように荘周辺で『バーベキュー』を催しました。炭で火を熾し焼きそば、海鮮、季節の野菜、厚い牛肉と豚肉を堪能しました。肉は松阪屋さんに注文したところ予算以上のボリューム感に利用者様は笑顔で我先に焼けた肉を口に頬張り食べていました。松阪屋さん、ありがとうございます。

今回は日頃行事に参加できない方の為に荘内で行ないました。その方も日差しを浴びて皆の声を聞き楽しんだようです。これからも利用者様の笑顔が多く見られる催し物を多く実施したいと思っています。

ごちそうさまでした!!

松阪屋精肉店様のご好意により価格以上のお肉をご提供いただきました。有難うございました。お蔭様で大変ボリューム感のある、内容の濃いバーベキューとなりました。利用者一同大変感謝しております。肉の味を十二分に堪能しつつ普段の肉不足を解消してしまつた結果、食後は満腹のあまり動くこともままならず横になって肉の消化を助けた次第となりました。

『無人君』のご利用

ありがとうございます。

十余年の長きに亘り若松製麺所様のご好意により空き地をお借りして野菜等の無人販売『無人君』を設置させていただきました。

お蔭様ではまぎく荘としての販売を今年三月をもちまして終了させていただくことになりました。これまでのご利用に深く感謝申し上げます。

四月より新たに同法人の事業所である『福祉サービス事業所がやき』が引き続き販売を行なっています。地域の皆様方には今後とも無人販売をご利用下さるようお願い申し上げます。



新職員紹介



看護師
菊地美枝子

看護師として三十三年間勤めてまいりました。日々、忙殺されるような仕事ではありましたが、たくさんのお客様や御家族とのかかわりから多くの貴重な学びを得ることができました。『病い』という言葉いじめぬ辛さや悲しみ、非情さもありました。そんな中、人間の尊さや生きることの意味を自分なりに学ぶことができたように思います。

今回、縁があつて、はまぎく荘に勤務することになりました。福祉を学ぶ好機と捉え少しでもお役に立ちたいと考えております。仕事は多少大変でも、楽しく笑顔で、をモットーに努力したいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



支援員
野木節子

こんにちは。
この度、障害者総合支援センター『ふくいん』から異動して参りました野木節子です。施設支援から離れて随分経つので不安や戸惑いばかりですが、常に誰もがハッピーになれるようにというのを念頭において、支援していきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。



支援員
四家 崇

四月一日より支援員としてはまぎく荘に勤務させて頂くことになりました。四年間、はまぎく荘で夜勤パートをしてきましたが、まだまだ未熟で職員と利用者の皆様にご迷惑をお掛けすると思ひます。ですが精一杯頑張る、一日で

も早く先輩職員達のように頼れる職員を目標にして、一日、一日を大事にしていきたいと思ひます。
皆様にはご指導よろしくお願ひ致します。



事務所員
葉谷喜美子

二月より事務補助として勤務させて頂くことになりました。はまぎく荘で、まだ仕事を覚えるのに一杯ですが、周りを見渡せば支援員さんの手際よい仕事に感動し、利用者さんの笑顔に励まされる毎日です。なかなか利用者さんと接する機会が少ないのですが、利用者さんにも頼られる一員になっていきたいと思ひます。

初心を忘れず、諸先輩のご指導のもと、一日も早く皆様のお役に立てるよう努力していききたいと思ひますので宜しくお願い致します。

お疲れ様でした 異動・退職職員

○ご退職

看護師 山下 保美さん

平成十五年八月にはまぎく荘に赴任して六年八月、利用者との職員の健康管理をして頂きました。利用者の障害程度が多様化する中時に厳しく時に優しく、誠実に健康管理に努めていただきました。感謝申しあげます。定年で退職する運びとなりましたがご自分の静養にも努めて頂きたいと思ひます。

○異動：はまなす荘へ

支援員 鈴木 亮子さん

平成二十年五月に支援員として勤務して一年十一月。女子利用者の支援をして頂きました。短い期間でありましたが若さを前面に出して元気いっぱい勤めていただきました。兄弟施設のはまなす荘でも明るく元気に勤め下さい。

○異動：かがやきへ

支援員 パート

猪狩 泰久さん

平成十八年九月から三年七カ月、はまぎく荘へ勤務

していただきました。主に園芸科の野菜栽培を中心に利用者支援をしていただきました。最近では利用者の入浴介助までお願いしてしまいました。就労継続支援施設かがやきへ行つても屋外での作業が中心になろうかと思ひますがお元気で頑張め下さい。

ようこそ!!

小山 悦子さん

今年二月十日よりはまぎく荘に入所しました。無口な印象を受けますが歩く速度は速く元気いっぱいです。よろしくお願ひします。

個人情報

平成十七年四月一日施行の個人情報保護法に基づき、写真は本人等の了解のもと掲載しております。

編集後記

捲るめく月日の中で新年度が始まりました。希望と不安の入り混じる中『まっ、いいか。だって皆んな楽しそうだから』との思いで、穏やかにそしてがっかり施設とならぬよう、今日は萎えていても明日咲く花もあることだし希望に燃えて誠実に歩んで行きたいと思ひます。今年も新編集委員でやつていこうと思ひますので購読の程を宜しくお願いいたします。